「みやぎ会津会」発足

「郷土愛忘れない」

仙台で設立総会

宮城県内に住む会津地方出身者らでつくる「みやぎ会津会」の設立総会は二十八日、仙台市青葉区のホテルメトロポリタン仙台で開かれた。郷土愛と故郷の誇りを忘れず、仙台市の経済界などで活躍する人たちが約半年の準備期間を経て発足にこぎ着けた。会津の伝統や文化の素晴らしさを宮城県内で広く語り継ぎ、次代を担う若者にも伝えていきたいとしている。

乾杯し、会の設立を祝うパーティー出席者

会長に須佐さん（金山出身）

設立総会には、仙台市を中心に宮城県内各地から約百二十人が出席した。発起人会の会長を務めた須佐尚康さん（東洋ワーク社長・金山町出身）を初代会長に選んだ。事業計画として、三カ月ごとに定期例会を開くほか、郷土訪問などの親睦会を催すことなどを決めた。

須佐尚康会長

引き続き設立記念パーティーが催された。菅家一郎会津若松市長をはじめ会津地方の十九市町村長ら関係者、村井嘉浩宮城県知事、梅原克彦仙台市長、丸森仲吾仙台商工会議所会頭らが出席した。福島民報社から渡辺英範副社長が出席した。

須佐会長が「文武両道の会津精神を宮城県内に広めよう」とあいさつした。菅家市長が「お互いに連携し、会津の良さを継承しましょう」、村井知事が「会津と宮城両地域の発展につながることを期待します」とそれぞれ祝辞を述べた。野口正一特別顧問（元会津大学

遠藤敬止たたえ 1月発足を準備

みやぎ会津会の発起人会メンバーは、郷土の先人・遠藤敬止が第七十七国立銀行（現七十七銀行）の二代目頭取に就任したのが明治十四年一月だったため、一月発足にこだわって準備を進めてきた。須佐会長らは「遠藤翁の活躍をたたえ、今後ますます会津と仙台の交流を深めていきたい」と話している。

▽副会長＝高橋信（JTB東北社長・会津若松市）、酒井紘（ユアテック前専務・喜多方市）▽代表顧問＝森彬大（仙台放送相談役・会津若松市）▽特別顧問＝野口正一（元会津大学長）▽常任幹事＝菅家延征（東日本放送専務・金山町）、赤塚吉雄（日本鉄道電気設計東北支店長・会津若松市）、渡部速夫（日本政策投資銀行東北支店長・南会津町）▽幹事＝穴沢鉄男（編集工房まく代表・喜多方市）、吉田一（シャープドキュメン21ヨシダ社長・会津若松市）、梅宮米八郎（オンド樫山仙台支店長・同）▽事務局＝浅井宣夫（プランニング・オフィス編集長・会津町）、渡部要次（東北カ社長・喜多方市）▽事務局＝金田万庫（ユアテック報通信部長・会津美里町）▽事務局＝佐藤孝一（プレン・ワークス社長・会津若松市）

長）の音頭で乾杯し、の発足を祝った。参加は故郷での思い出など語り合いながら、懇親を深めた。

入会希望などの問い合わせは東洋ワーク（電022（225）5022へ。

役員は次の通り（敬称略、名は出身地）。